

本公開シンポジウムは、平成 23 年度外務省 NGO 研究会「大学と NGO の連携～大学との連携促進による、国際協力 NGO の組織力強化とスタッフの能力向上～」(座長：落合雄彦 龍谷大学法学部教授)の調査研究成果の発表及び社会還元をその主な目的として実施するものです。

同研究会は、以下の 4 つの部会で構成され、関西と九州を中心に様々な調査研究活動を展開してきました。

- (1)「大学と NGO の連携」の現状や課題調査、それぞれの比較優位研究
- (2)「大学と NGO の連携」のグッドプラクティス研究
- (3) 大学と NGO (+他セクター)による共同事業立案
- (4) 海外における「大学と NGO の連携」研究

本公開シンポジウムに続いて、**2月17日(金) 18:30~21:00 九州大学医学部百年講堂(福岡市)**でも同様の公開シンポジウムを実施する予定です。

「外務省 NGO 研究会」

とは…

NGO が外務省の資金援助のもとで自らの事業実施能力や専門性の向上を図るために行う研究会のこと。各研究会では、NGO が直面する特定の課題について調査研究、セミナー、ワークショップ、シンポジウムなどを行い、具体的な改善方策などを報告・提言することになっています。平成 23 年度については、関西 NGO 協議会を含む 5 団体が外務省から NGO 研究会の委嘱を受けています。

講演者、パネリスト等略歴

問題提起



조희연 (ちょ ひょん)

聖公会大学 (Sungkonghoe University) NGO 大学院教授及び院長

ソウル大学卒。延世大学で社会学博士。1994 年、朴元淳弁護士(現、ソウル市長)とともに参与連帯創立。1999 年、李在禎神父(元統一部長官)とともに、市民運動家の再教育機関として聖公会大学 NGO 大学院を設立。2007 年、NGO 大学院の中にアジア社会運動家修士課程として MAINS (アジア非政府機構学課程)を開設。2003 年各メディア調査で「もっとも影響力のある知識人」に選定された。主著『韓国の国家・民主主義・政治変動』、『韓国の民主主義と社会運動』など多数。



秋葉 武 (あきば たけし)

立命館大学産業社会学部准教授

神奈川県生まれ。明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了。環境 NGO、アジア NGO フォーラム・コーディネーター、NPO 支援センタースタッフ等を経て、現職。担当科目は「NPO・NGO 論」「NPO マネジメント研究」など。最近の研究は、「事業型 NPO の資源動員とステークホルダー」「日韓の事業型 NPO・社会的企業の経営管理と政治環境」など。社会的活動として NGO の第三者評価、コンサルティングに携わる他、行政の各種委員を歴任。NPO 法人パブリックリソースセンター理事。

座長・総合司会



落合 雄彦 (おちあい たけひこ)

龍谷大学法学部教授

1965 年神奈川県生まれ。1995 年慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程退学。国連ボランティア (UNV)、日本学術振興会特別研究員、敬愛大学国際学部講師などを経て現職。専門はアフリカ政治学。主要な編著書として『アフリカの紛争解決と平和構築：シエラレオネの経験』(編著、晃洋書房、2011 年)などがある。

パネリスト

高橋良輔 (たかはし りょうすけ)
大石洋史 (おおいし ひろし)
山田和生 (やまだ かずお)
森脇祐一 (もりわき ゆういち)

佐賀大学文化教育学部 准教授
龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター 課長
株式会社マイチケット 会長
特定非営利活動法人アクセス
- 共生社会を目指す地球市民の会 常務理事